



豊かで活力あるまちにするためには、一人ひとりが性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現が大切です。市では、男女共同参画社会の実現を目指して「男女共同参画プラン」を策定し、プランに掲げた施策を総合的・計画的に推進していきます。

☎しあわせ推進課人権啓発室 ☎44-3116

## 男女共同参画プランの体系図

### 男女が共に自立し、参画する社会の実現

男女共同参画プランでは、男女が共に自立し、参画する社会を実現するため、三つの基本目標とそれぞれの重点課題を設定しました。

男女共同参画プランの計画期間は、平成18年度から22年度までの5年としますが、社会、経済情勢の変化やプランの進ちょく状況など、必要に応じて見直しを行っていきます。

#### 基本目標

#### 重点課題

#### 1 毎日の生活の中で男女共同参画を実践する

- ①政策・方針決定の場への男女共同参画の促進
- ②地域活動への男女共同参画の推進
- ③家庭生活における男女共同参画の推進

#### 2 男女が共にいきいき働くための環境をつくる

- ①事業所などの労働環境の整備・促進
- ②事業所としての市の率先行動
- ③農業や自営業などにおける女性の参画への支援
- ④女性の職業意識の高揚と能力・個性発揮への支援

#### 3 一人ひとりが大切にされる人・まちをつくる

- ①人権を尊重する意識の醸成
- ②生涯を通じた男女の健康・安全支援
- ③男女が生涯生活しやすい環境整備

1 毎日の生活の中で  
男女共同参画を実践する

政策・方針決定の場への  
男女共同参画の促進

- ・ 行政が設置する委員会や審議会などにおける女性委員の登用率を32%から40%に上げます。
- ・ 一方の性別に偏っている行政が設置する委員会や審議会を見直します。
- ・ 自治会や地域の諸団体に、女性の参画を働きかけます。

地域活動への男女共同参画の推進

- ・ ボランティア活動を広報紙などに紹介します。
- ・ 防災、防犯分野などへの女性の参画や健康、福祉分野などへの男性の参画を促進します。

家庭生活における男女共同参画の推進

- ・ 家事、出産、育児などの家庭教育の大切さを男女が共に学ぶ講座を開催します。



2 男女が共にいきいき働くための  
環境をつくる

事業所などの労働環境の整備・促進

- ・ 男性の子育て、介護、看護の理解を促進します。
- ・ 乳幼児健康診査などに働く男女が共に参加しやすい環境を整備します。



- ・ 育児、介護休業などを取得しやすい環境を整えます。
- ・ 女性管理職の登用推進を働きかけます。
- ・ 性別による固定的役割分担意識や職場での慣行の見直しを図るため、学習会や講演会を開催します。

事業所としての市の率先行動

- ・ 性別による偏りのない人事を行います。
- ・ 女性職員を積極的に登用します。
- ・ 男性の育児休暇や介護休業取得を促進します。
- ・ 男女共同参画社会の視点に立った行政を推進するために必要な研修を開催します。

農業や自営業における  
女性の参画への支援

- ・ 女性の地位向上に関する各種情報の提供や学習、社会活動を支援します。
- ・ 農業団体や自営業団体などの役員への女性の登用を促進します。
- ・ 女性の職業意識の高揚と能力・個性発揮への支援

- ・ 就業に向けての学習機会を提供します。
- ・ 開業にあたっての貸し付け制度の紹介や利用を促進します。



3 一人ひとりが大切にされる人  
まちをつくる

人権を尊重する意識の醸成

- ・ 男女共同参画に向けた講座やイベントを開催します。
- ・ 講座、講演会などに託児を設置していきます。
- ・ ドメスティックバイオレンス(性的いやがらせ、児童虐待の未然防止に努めます。)一般的に夫(妻)やパートナーから振るわれる暴力。

生涯を通じた男女の健康・安全支援

- ・ 妊産婦、乳幼児家庭訪問を実施します。
- ・ 男女が共に健全な食生活を実現するため、食育を推進します。
- ・ 定例健康相談、公民館・地区保健室、でんわ健康相談などの相談を充実します。

男女が生涯生活しやすい環境整備

- ・ 子育て支援センターを充実します。
- ・ 高齢者の健康づくり、生きがいづくりを支援します。
- ・ 保健、福祉などに関する相談や支援を行う地域包括支援センターを整備します。

身近な男女共同参画チェック

お子さんのクラス担任の先生の名前を知っていますか？

知らない場合は、あまり育児にかかわれていないのではないのでしょうか。まずは、「知りたい」と思うことが参画の第一歩です。

資源ごみの正しい出し方を知っていますか？

知らない場合は、あまり家事にかかわれていないのではないのでしょうか。まずは、家事に関心や感謝の心を持つことが参画の第一歩です。

「女のくせに」「男でしょ」と言ってしまったことはありませんか？

「女、男だから…すべき」という思い込みが、あなたの生き方を狭めているかもしれません。